

2018 年年頭所感

2018 年の年頭にあたり、朗報を 2 つご報告致します。

母校は、文部科学省平成 29 年度私立大学研究ブランディング事業に選定されました。

平成 29 年 12 月 9 日（土）、都市大総合研究所・未来都市研究機構により、「選定記念シンポジウム」が世田谷キャンパスで開催され、柏門技術士会から五艘章相談役、安部毅委員長と私が参加しました。



会長 小林洋一

「私立大学研究ブランディング事業」とは、学長のリーダーシップの下、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を大きく打ち出す取組を行う私立大学に対し、施設費等を一体的に支援する事業です。同事業「タイプ B：世界展開型」に東京都市大学「都市研究の都市大：魅力ある未来都市創生に貢献するエイジングシティ研究および実用化の国際フロンティア」事業が選定されました。

総合研究所、工学部、知識工学部、環境学部、都市生活学部の若手先生方が連携し、単科大学では成しえなかった都市大改革の姿が見えてきました。武蔵工大の果たした役割を評価しつつ、新たな東京都市大学への期待が高まるシンポジウムでした。ぜひ、母校のホームページをご一読ください。

昨年末に平成 29 年度技術士第一次試験の合格発表がありました。都市大学部生の合格者は 49 名でした。全国 5 位の快挙です。卒業生を加えた全体の合格者数は 94 名で、全国 15 位の好成績（昨年度 72 名、28 位）でした。在学生の頑張りが引き上げてくれました。

卒業後、技術系企業に就職する学生にとって、大学在学中に技術士制度を知る。そして、技術士第一次試験に挑戦する事は大きな意義があります。卒業までに第一次試験に合格して修習技術者の立場で社会人として、スタートダッシュを切る、すなわち技術士をめざす。技術士を目標に日々の仕事を通して研鑽する技術者になってほしいと願っています。これからもこの大切な意義を学生諸君に伝えてまいります。

日本技術士会広報関係者、学内の多くの関係者の皆様からのご支援を受けて、喜ばしい技術士制度の普及啓発ならびに技術士第一次試験の受験奨励の取り組み成果でした。

これからも在校生・先生方・大学事務局・校友会の皆様方と連携し、母校を愛するすべての会員の皆様方と共に、より良い柏門技術士会をめざしてまいります。一層のご支援・ご協力をお願い致します。了